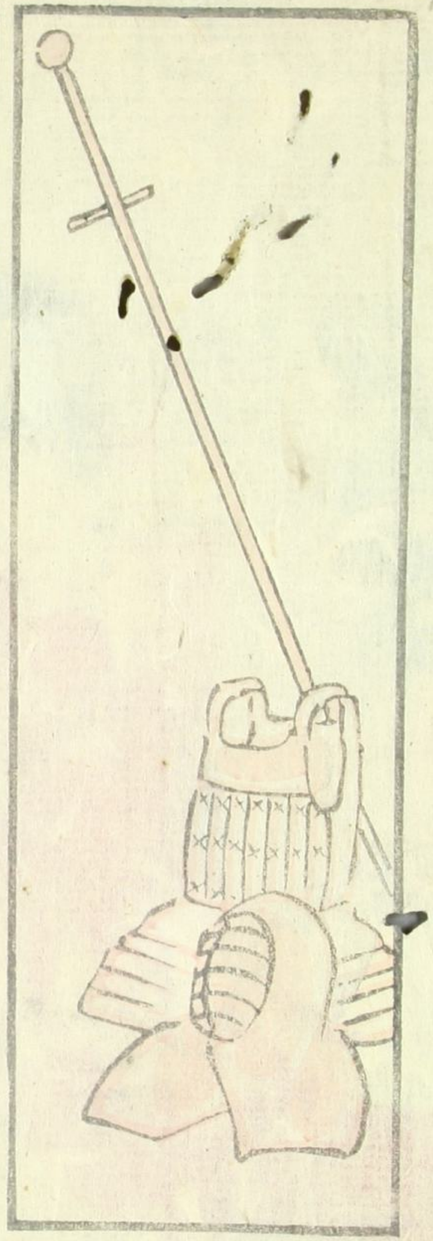
假名讀太閤記
紅木堂板
四編上
四編下
芳虎画

偽名讀太閤

紅木壹板

四編上

AK00
7



假名讀太閤記

四編上之巻

有人綴　芳虎画　木宗板

48-7598

目録

山口の手を以て戸部新左衛門を討ち給ふ起り
上島木下の為ふ再度後ろを取迄を説
雪隠ふて三間鎗を遣ふ者あり。何そ突と問ふ人あしふ虚を説と答へ〜ふ。昔くの落話。此史ふ説出ち木下ゞ。三間鎗の調煉ゆ定て虚を説ふやと。人く危く思ひ〜ふ。鎗の柄ゆ把仁の。才に長短ゆるを以て。後架の踏板外させ〜。茅切庖丁長刀ふぶ鎗の試合ふ上嶌を。なのぞく ナアニ何者と。出所さゞ知る秀吉ゞ智謀の條い後編のお集りふと。發語ふいざ〜。落話ふ因て。志のいふ

辛未春

山く亭有人記

○尾州荒子城主
前田縫殿介男
同笛犬千代

信長の侍女
よし野

○さるほどに山口九郎兵衛は
ひそろふもちろしまろのあるもの
木下ぐるあるらくとうまさく
よーくのとくのあいつろこぐく
ゑるひとるのをあるぶ
どせいのあるびさへーろ
いぐれいるとゑ義吉郎
これをさ
ろふもて
ぐんぐもち
せんとるび
ぐるぐ
かろに
ぶんのあくとりて
どせんいろるもまれ
れびこすく
ぐんぐもりぐ
きとのとろ
のきの義吉
れびくちきち
ひとろのまろりどと
あんド茶道きうみ
たろうてこぐに
そのりこぎとまるび

木下藤吉郎

左今きこへあげれぐりとよろ
ちんまこのあさごのあれば
どききんめんふまろーーるひ
義吉くーとこぐびいぐー
やをまさる
あのれあるう
るのぶ
ぐふもやの
のこさ」と
あこへーと
えすぐも
ふこき
り
いひこみ
あぐびく
きこん
いひこみ
ぐくば
ゑへ
こせ
じと
いをき
あをかれ
ぐくるる

▼ちんぐ
そのあまく
ぐるふ
ろうふるの
のころふく

▼いろるも
あの長ぐのを
さーとさて
まろりとと
いろろり
ぐふぐ
いひこみ
あぐびせよ
きこんとい
いとありぐき
きぐやこい
ぐりねぐあい
あこりの
どきん
じもを
とれぐみ
こるぐ
そのの
しさの
ぐん上
せんと
ありるふぐ
のぶるぐ
やぐく
きんぐもを

ちゃを
ちーと
こそあつるふを
ふくぐえんいふぐろ
ぐられどのぶまろも
さぐころのこぐさとろこ
あぐされべつのこぐもも
まろりぐひとりのさぐろ
ぐせんふいぐくこんふち
ろんぐるとまろのあんちゃい
義吉郎ぐもまろと
きこへ
あぐまべ
のぶまろも
いこぐ
ふーんふ
あぐされて
いろるまべ
ろのさるい
さぐ
まぐもいち
ろん
こそさせろと
ぐ
ぐせんへ
ぐびいぐ

▼

うけんもこを
るまへ
のぶるぐ
まるくまも
こるひいろる
ちんちゃい
義吉郎を
せ
い
こそ
させ
るる
ふくる
ふこを
をゆく
めるあ

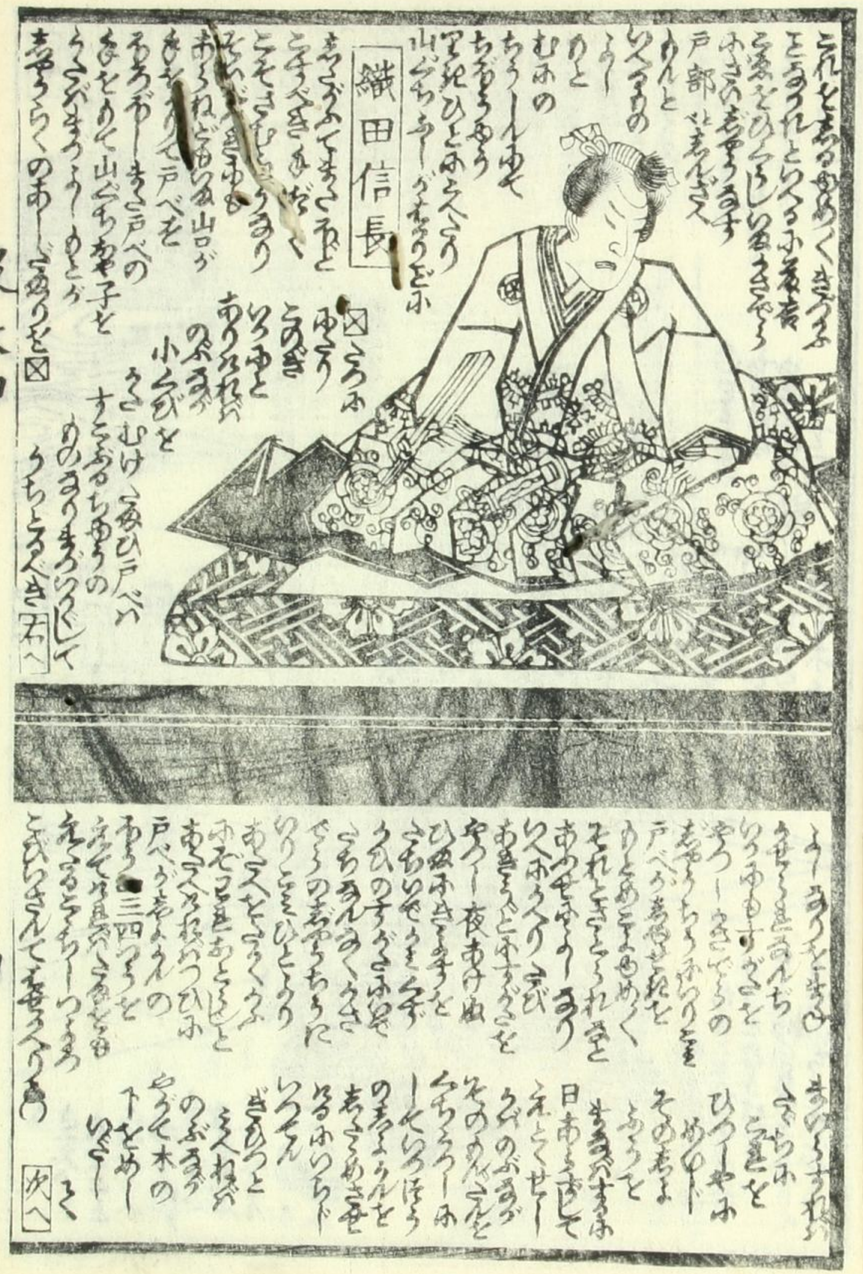
茶道

義吉ぐぐ
まろくすちゃい
ちぐめあの長ぐ
ひとこちのこそこの
のまくりをつぐきこへ
ちくまろ長ると右へ

とれざみ
そのあまい
いろふとあり
ぐること義吉
あるくあまへふ
ちこるるやぐこち
さるのすけくりふ
ちろきんいくを
どまちのあん
ふくとさろまに
うーもとの
さるくてを色
あろくるくの
ぐちを
ひこんと
ちくーり
あろりは
ゑこの
ぐるこの
まろふ
ありてたぐ
ひこをく
まること
とれちゃんの
こあゑこあり
この夜どもを

次へ

木下藤吉



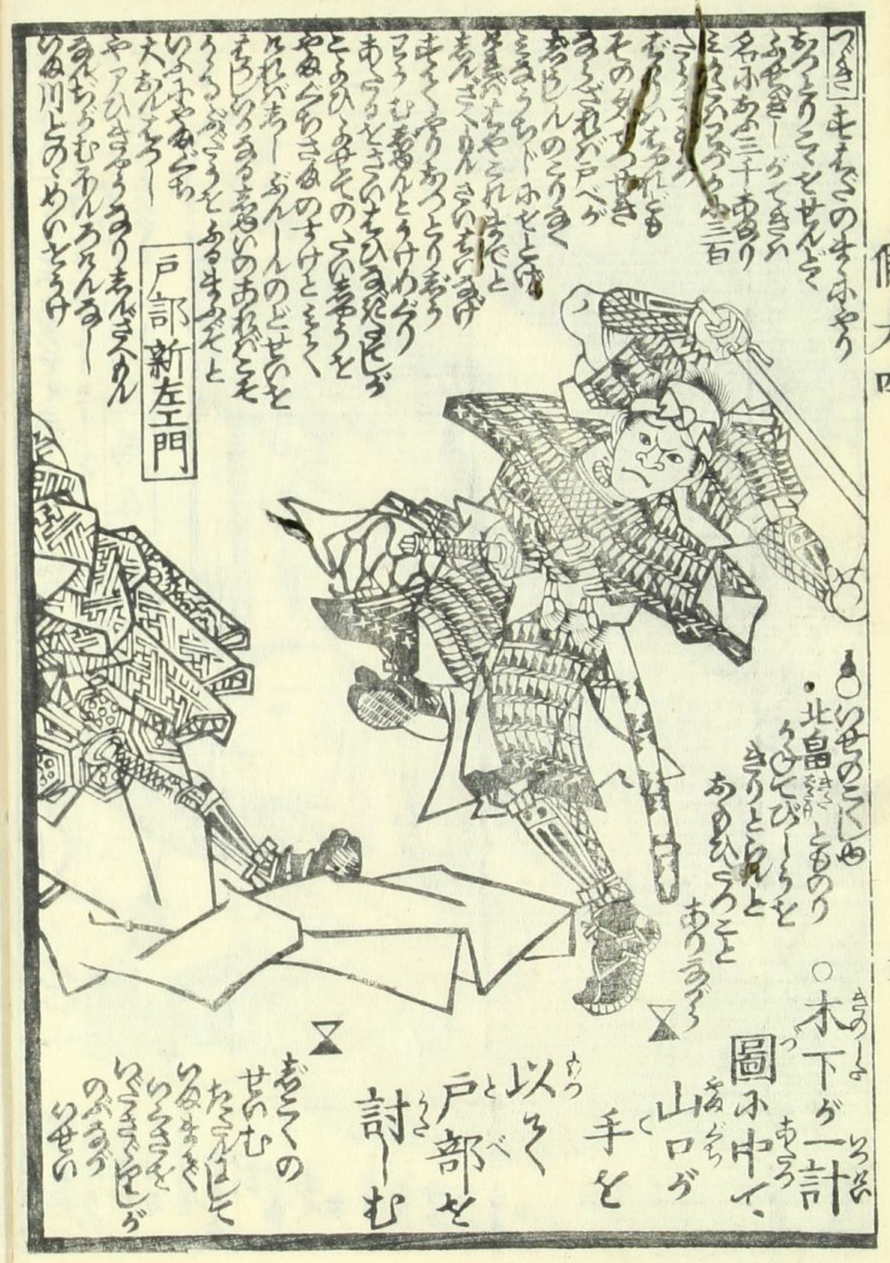
織田信長

勝手口

○森可成
姿をやつして
笠寺の
城中に
赴る

今川義元

山口左馬介



○木下が一計圖ふ中て、山口が手を以て戸部を討む

○いせのこくしゅ・北畠とものりうけてびーくうをきりとられとあるひろうことあり

戸部新左門

○のぶながの大ぜいとなりてせんごくの名ゆあり三十ゆあり三百

○北畠とものりうけてびーくうをきりとられとあるひろうことあり

○木下が一計圖ふ中て、山口が手を以て戸部を討む

木下藤吉郎

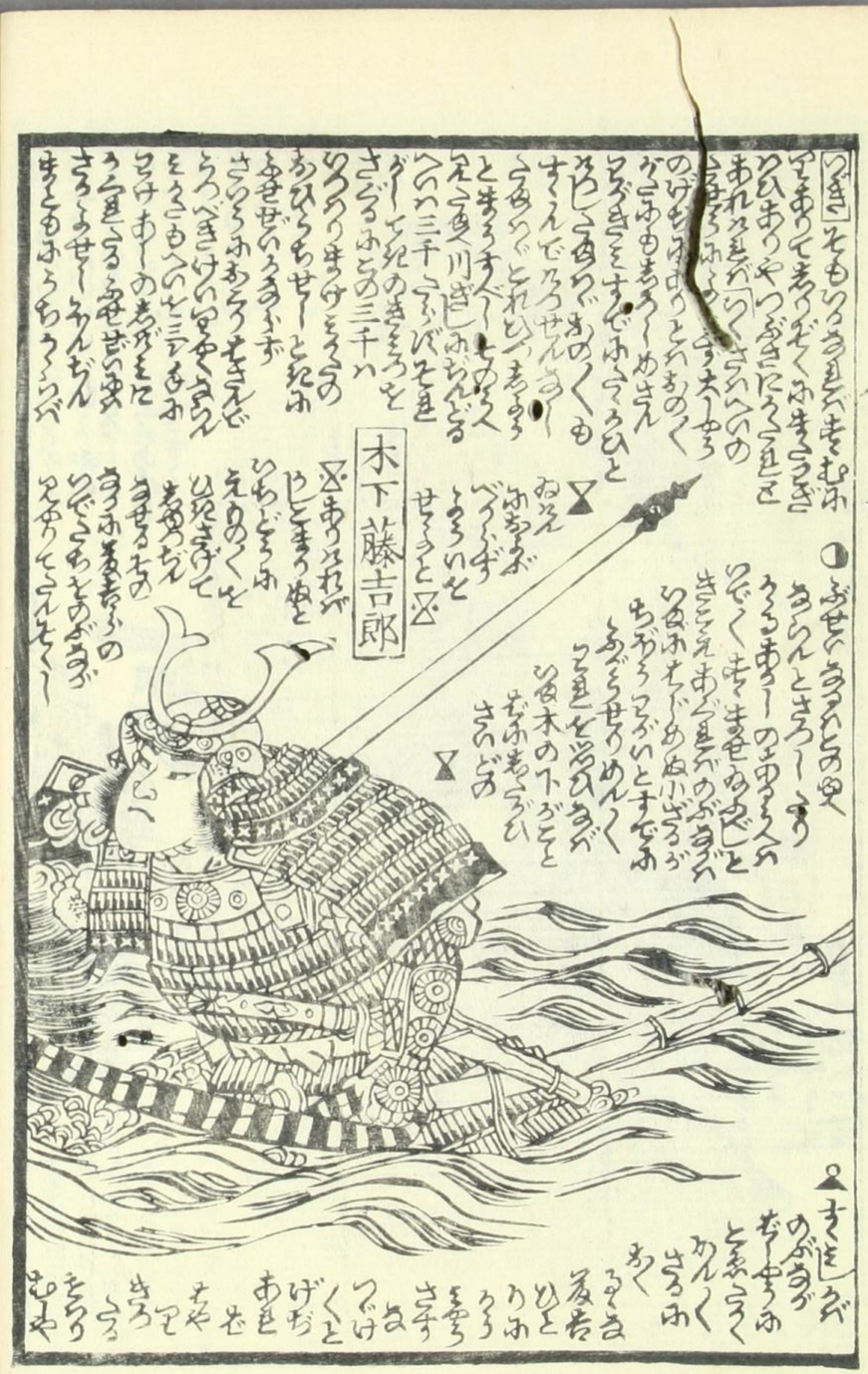
織田上總介信長

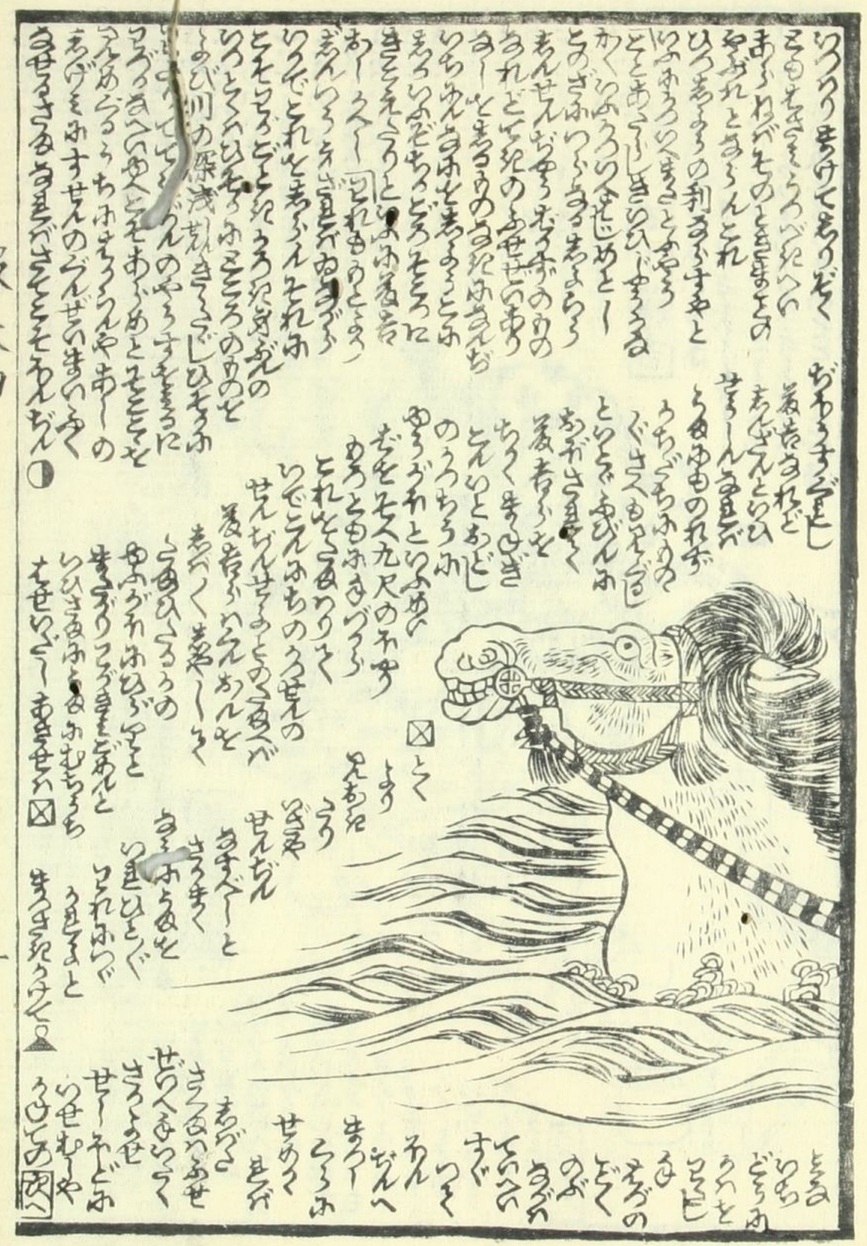
柴田勝家

魁

池田信輝

木下・藤吉郎


木下藤吉郎



新刻目録

倭國字西洋文庫　初編ノ追〻出板　孟齋芳虎画

梵字滝奇験利劍　初篇ノ追〻出板　一名成田利生記　爲永春水合作　山〻亭有人作　錦朝楼芳虎画

假名讀太閤記　初編ノ追〻出板　假名垣魯文作　山〻亭有人作　錦朝楼芳虎画

地本草紙問屋　馬喰町四丁目　紅木堂木屋宗次郎

010190518669

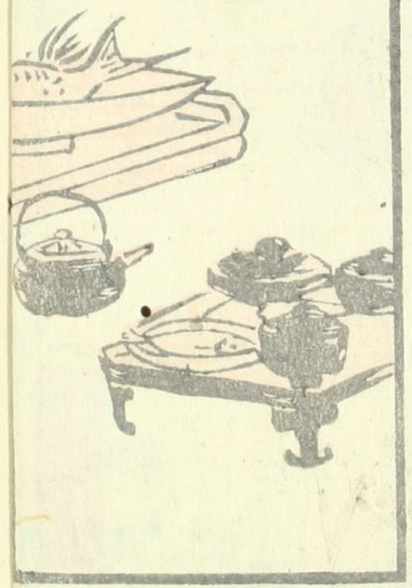
記
四編下
奉来春
盡
芳虎画

A450
8

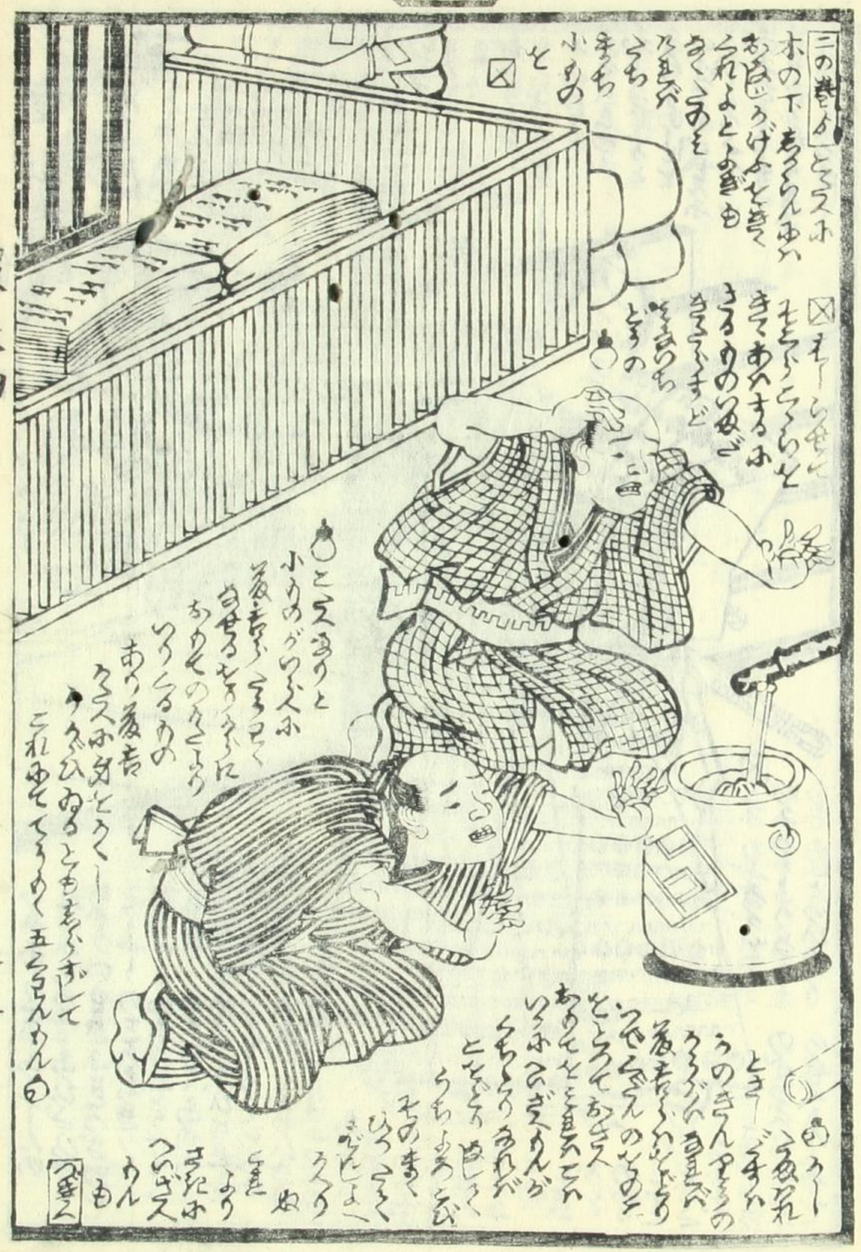
この巻とりみ吉谷記記海下

山とりつぐる　言時所

豫物樓志　木家志



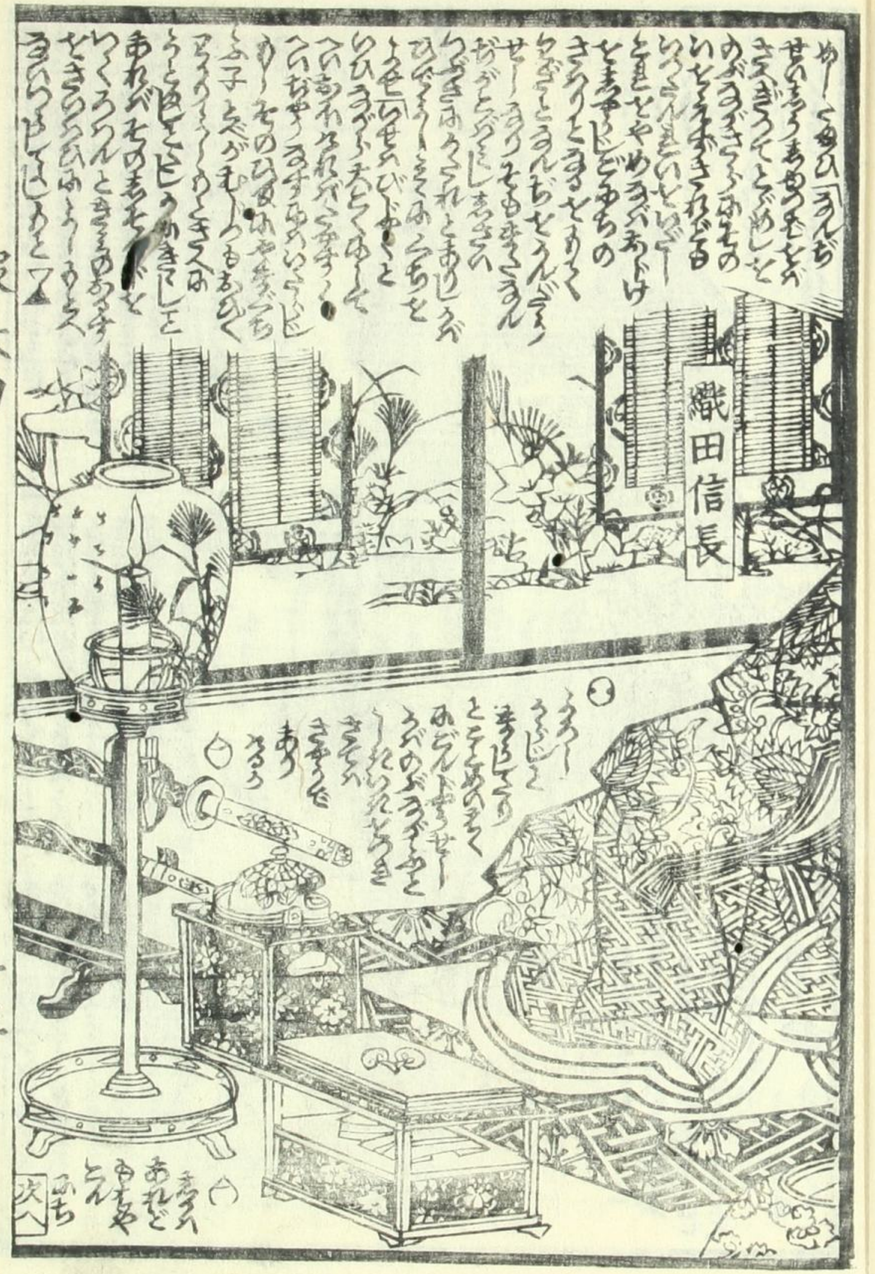
48-7599



木下藤吉

八重

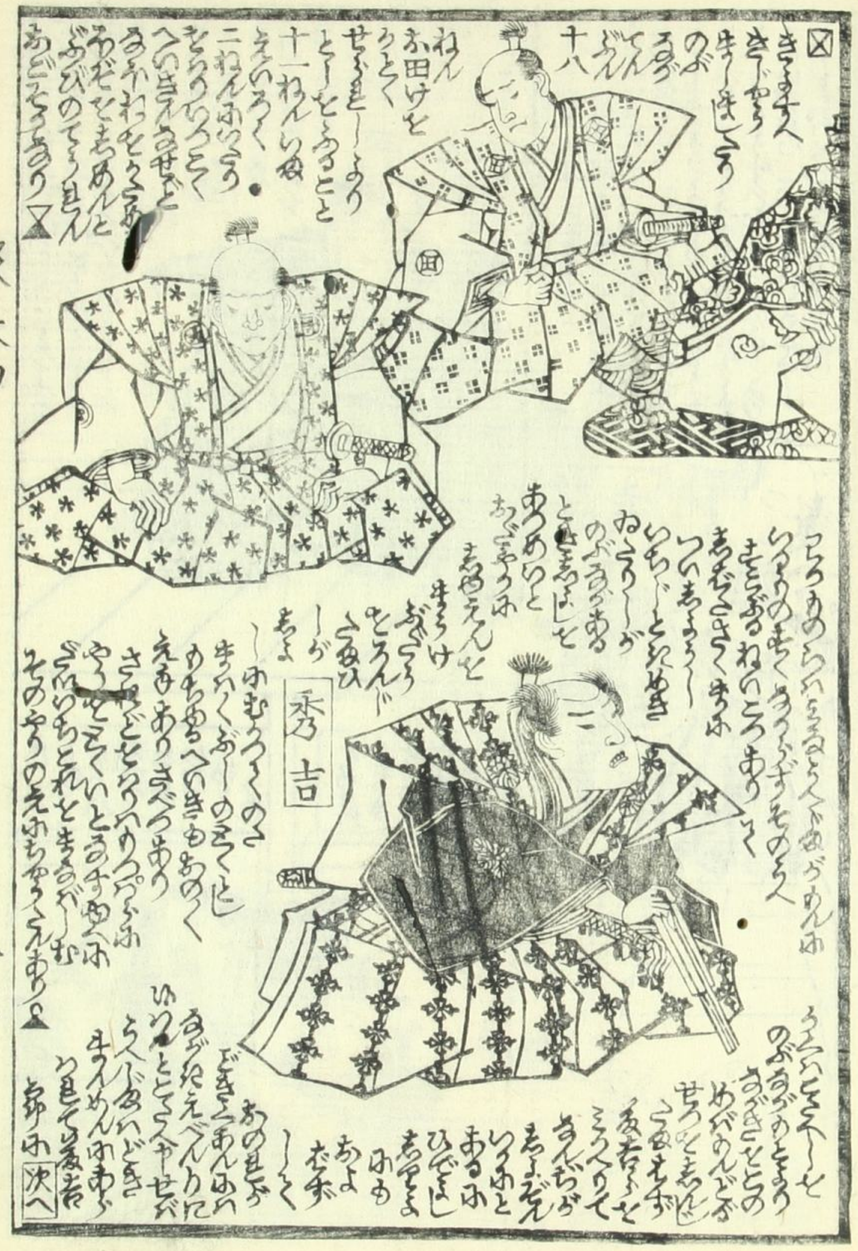
木下秀吉


織田信長

織田信長

柴田勝家
木下秀吉

信長
上島主水

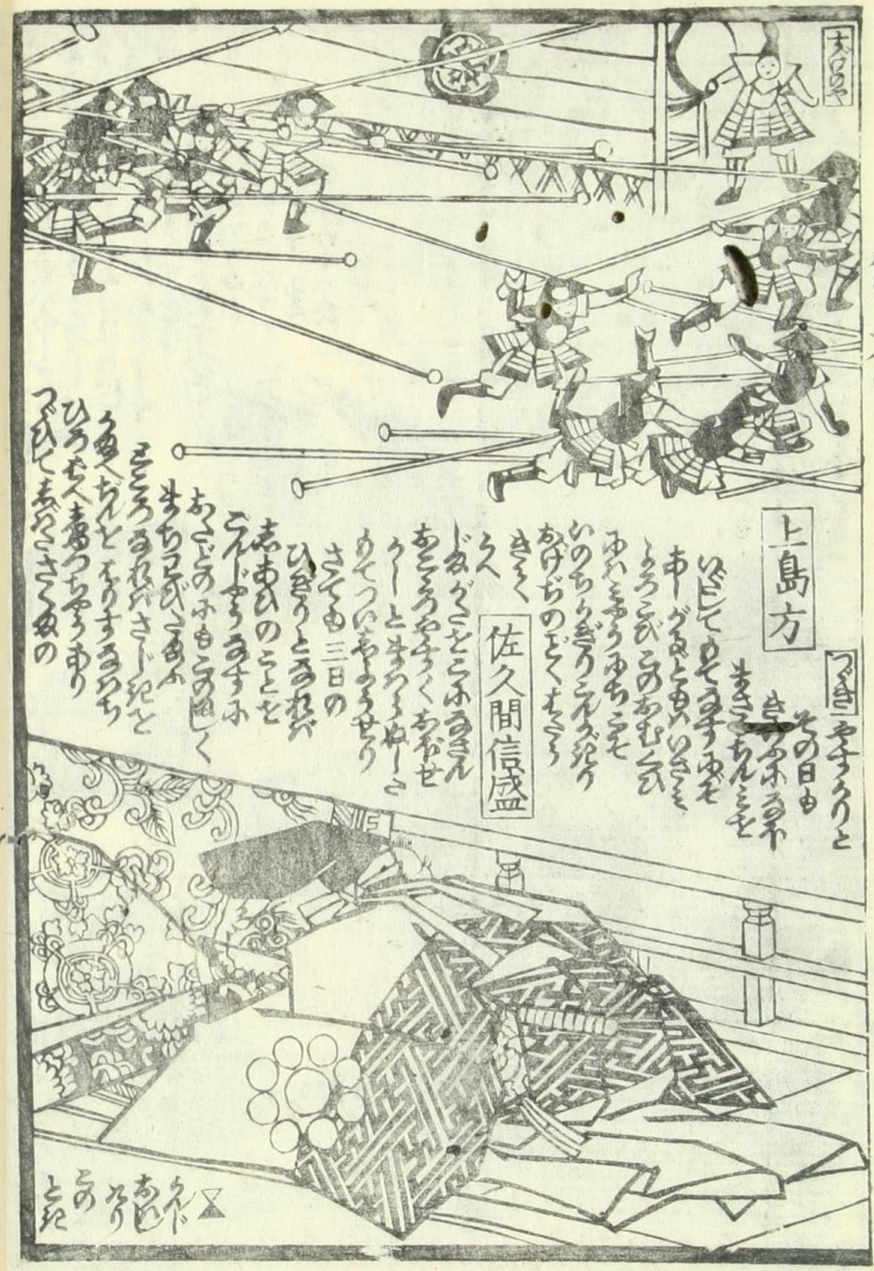

十八
秀吉

上島

四
下

上島主水

つゞき
秀吉



上島方

佐久間信盛

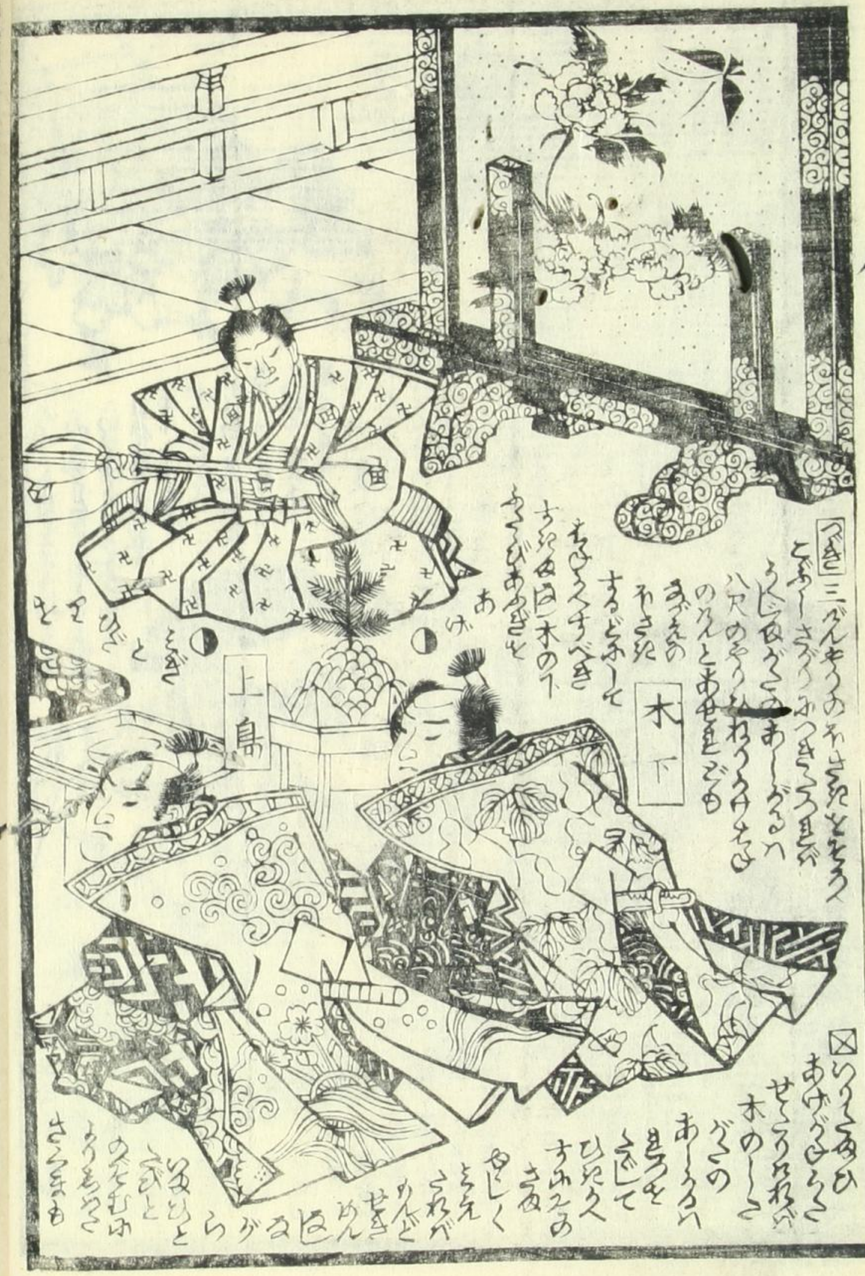
つゞき

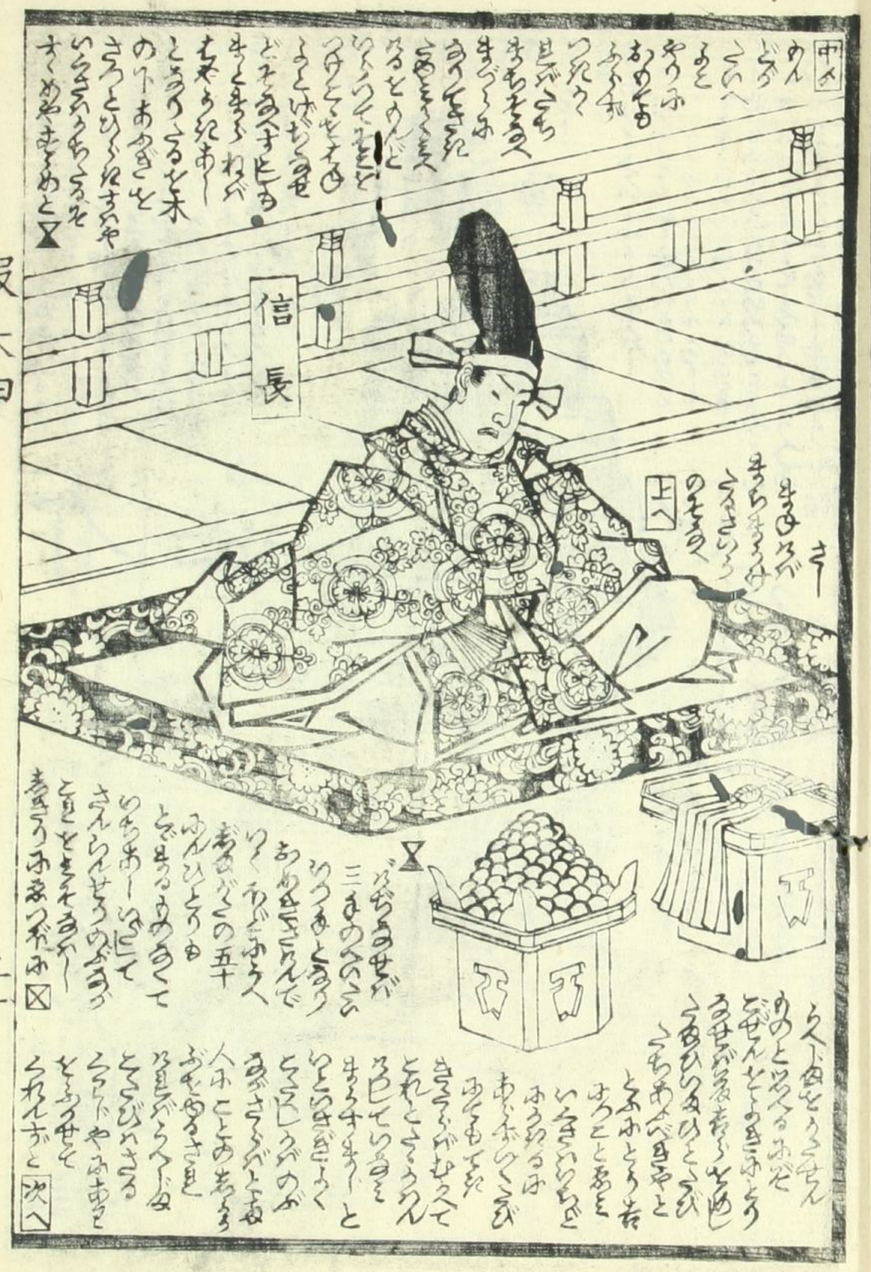
木下方

織田信長

此木田勝家

つゞき


木下
上島


信長

紅木堂近刻目録

佐野渡雪八橋　九編　為永春水作
十編　梅蝶樓國貞画

昔語室辟夫郎　九編　為永春水作
十編　一壽齋國貞画

ろろう人代きた久
ビン入武久ろう
きた条

が孫たげぬ水茱

茱萸花色たるもの一ろう月一
曲の妙茱萸にしてあきらるたを
するむしたのつまをとあ老ろう
人もてあき人のそのめく大丈夫なる妙
付ろう氏あ茱をたぬの分を上ろ
の通ろれを広伊編ら一月ろるる三色

たが竹沈閃孫

ろる告町四丁目
木屋宗次郎　板

010190518677